



# I 自然と人口

項目	データ	全国順位
<b>(面積)</b>		
総面積(北方地域及び竹島を含む)	3,798.13km <sup>2</sup>	39
自然公園面積	124,583ha	15
林野面積割合	32.2%	44
総面積1km <sup>2</sup> 当たり人口密度	1,894.2人	4
総面積中の可住地面積割合	67.8%	3
<b>(気候)</b>		
年平均気温	15.1℃	27
降水量(年間)	1,079.0mm	40
快晴日数(年間)	56日	1
<b>(人口)</b>		
人口総数	7,194,556人	5
男	3,608,711人	5
女	3,585,845人	5
外国人	88,734人	5
年少人口割合(0~14歳)	13.3%	26
生産年齢人口割合(15~64歳)	66.3%	3
老年人口割合(65歳以上)	20.4%	43
75歳以上人口割合	8.2%	47
<b>(年齢)</b>		
平均年齢	43.6歳	43
平均寿命(男)	79.62年	23
平均寿命(女)	85.88年	42
<b>(人口変動)</b>		
昼間人口	6,373,489人	5
昼夜間人口比率	88.6	47
他都道府県からの転入者数	157,961人	3
他都道府県への転出者数	147,663人	4
出生数	56,943人	5
合計特殊出生率	1.29	44
死亡数(総数)	59,137人	5
<b>(世帯)</b>		
一般世帯数	2,837,542世帯	5
核家族世帯割合(一般世帯)	62.2%	2
高齢単身世帯割合(一般世帯)	7.2%	43
婚姻率(人口千対)	5.2	13
離婚率(人口千対)	1.89	10
平均初婚年齢(夫)	31.3歳	3
平均初婚年齢(妻)	29.4歳	4

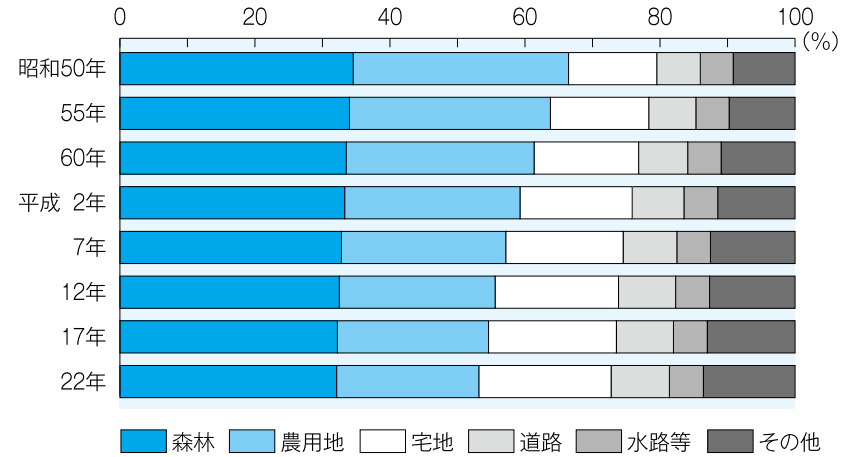
# 1 面積

単 位	* 1 総面積 (北方地域及び 竹島を含む)		* 2 総面積1kmあたり 人口密度		* 3 総面積中の 人口集中地区面積割合		* 4 総面積中の 可住地面積割合	
	km <sup>2</sup>	順位	人	順位	%	順位	%	順位
全 国	377 950.10		343.4		3.37		32.8	
北 海 道	83 456.87	1	70.2	47	0.96	43	28.3	30
青 森 県	9 644.54	8	142.4	41	1.66	34	33.5	22
岩 手 県	15 278.89	2	87.1	46	0.55	47	24.2	40
宮 城 県	7 285.76	16	322.3	19	3.33	17	43.2	14
秋 田 県	11 636.25	6	93.3	45	0.75	45	27.4	33
山 形 県	9 323.46	9	125.4	42	1.23	42	30.6	28
福 島 県	13 782.76	3	147.2	39	1.33	39	30.7	27
茨 城 県	6 095.72	24	487.2	12	3.97	13	65.3	4
栃 木 県	6 408.28	20	313.3	22	2.95	20	46.5	12
群 馬 県	6 362.33	21	315.6	21	3.15	19	36.2	17
埼 玉 県	3 798.13	39	1 894.2	4	18.09	4	67.8	3
千 葉 県	5 156.70	28	1 205.5	6	12.29	6	68.5	2
東 京 都	2 187.50	45	6 015.7	1	49.12	1	63.6	5
神 奈 川 県	2 415.86	43	3 745.4	3	39.29	3	60.7	6
新 潟 県	12 583.81	5	188.7	34	1.85	31	35.8	18
富 山 県	4 247.61	33	257.4	25	2.47	26	43.6	13
石 川 県	4 185.66	35	279.5	23	2.55	25	33.2	23
福 井 県	4 189.83	34	192.4	32	1.87	30	25.6	36
山 梨 県	4 465.37	32	193.3	31	1.35	38	21.3	44
長 野 県	13 562.23	4	158.7	38	1.30	40	24.4	39
岐 阜 県	10 621.17	7	195.9	30	1.68	33	20.7	45
静 岡 県	7 780.42	13	483.9	13	5.47	11	35.4	20
愛 知 県	5 165.04	27	1 434.8	5	17.84	5	57.6	7
三 重 県	5 777.27	25	321.0	20	3.22	18	35.4	20
滋 賀 県	4 017.36	38	351.2	15	2.68	24	32.3	25
京 都 府	4 613.21	31	571.4	10	5.71	10	25.5	37
大 阪 府	1 898.47	46	4 669.7	2	47.76	2	69.4	1
兵 庫 県	8 396.13	12	665.6	8	6.88	8	33.1	24
和 歌 山 県	3 691.09	40	379.5	14	3.88	14	23.1	43
鳥 取 県	4 726.29	30	212.0	29	1.93	29	23.2	42
島 根 県	3 507.28	41	167.8	37	1.38	37	26.0	35
岡 山 県	6 707.95	19	107.0	44	0.64	46	19.2	46
広 島 県	7 113.21	17	273.5	24	2.85	22	31.3	26
山 口 県	8 479.58	11	337.4	18	3.59	15	27.0	34
徳 島 県	6 113.95	23	237.4	28	3.45	16	28.1	31
香 川 県	4 146.67	36	189.4	33	1.28	41	24.7	38
愛 媛 県	1 876.53	47	530.7	11	4.16	12	53.4	10
高 知 県	5 678.18	26	252.1	26	2.71	23	29.4	29
福 岡 県	7 105.16	18	107.6	43	0.78	44	16.3	47
佐 賀 県	4 977.24	29	1 019.0	7	11.38	7	55.7	8
長 崎 県	2 439.65	42	348.3	16	2.22	27	54.6	9
熊 本 県	4 105.33	37	347.5	17	2.93	21	39.8	15
大 分 県	7 404.73	15	245.4	27	2.10	28	36.9	16
宮 崎 県	6 339.71	22	188.7	34	1.81	32	27.5	32
鹿 児 島 県	7 735.99	14	146.7	40	1.47	35	23.9	41
沖 縄 県	9 188.78	10	185.7	36	1.38	36	35.6	19
	2 276.15	44	611.9	9	5.75	9	51.3	11

資料出所  
\* 1～3 「国勢調査」総務省統計局HP  
\* 4 「社会生活統計指標」総務省統計局

調査時点又は期間  
平成22年10月1日  
平成23年10月1日  
調査周期  
5年  
毎年

# 利用形態別土地面積構成比 (各年10月1日現在)



資料：「埼玉の土地」県土地水政課

## 総面積は国土の約1%で全国第39位、人口密度は全国第4位

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の本県の総面積は3,798.13km<sup>2</sup>(東西約103km、南北約52km)で国土の約1%に当たり、47都道府県中39番目の広さです。

総面積1km<sup>2</sup>当たりの人口密度は1,894.2人で、前回調査(平成17年)と同じ全国第4位でした。

また、県内の全ての市と10の町に設定されている人口集中地区が総面積に占める割合は18.09%で、全国第4位でした。

「社会生活統計指標」によると、平成23年10月1日現在の可住地面積の割合は、全国平均(32.8%)の約2倍の67.8%で、全国第3位でした。

人口集中地区面積割合  $\text{人口集中地区面積} \div \text{総面積} \times 100$

可住地面積割合  $\text{可住地面積} \div \text{北方地域及び竹島を除いた総面積} \times 100$

## ～人口集中地区、可住地面積とは～

### ・人口集中地区

「人口集中地区」は、国勢調査基本単位区または調査区を基礎単位として、  
①人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村境界内で互いに隣接し、

②国勢調査時に、隣接地域の人口が5,000人以上を有する当該地域、としています。  
昭和35年国勢調査以来、各回の調査ごとに設定され、地方交付税算定基準の1つとして利用されているほか、都市計画、地域開発計画、市街地再開発計画、産業立地計画、交通計画、環境衛生対策、防犯・防災対策、その他各種行政施策、学術研究及び民間市場調査などに広く利用されています。

### ・可住地面積

「可住地面積」は、総面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出した面積です。



おしえてコバトン

## 2 自然・地形

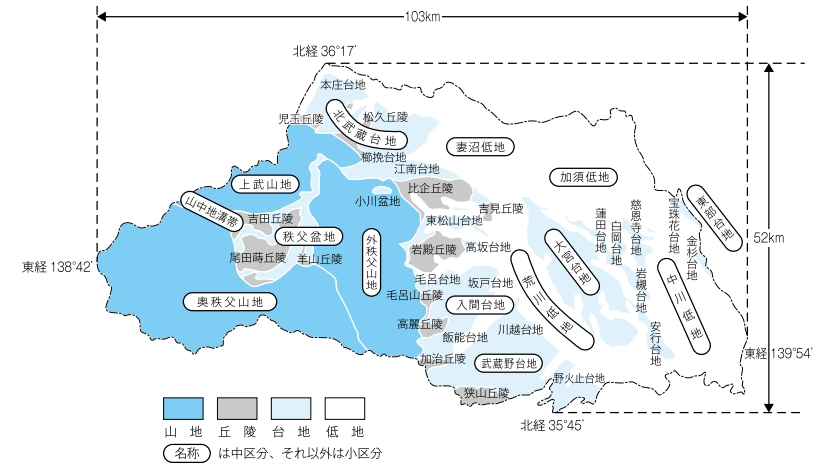
単 位	* 1 自然公園面積		* 2 自然公園面積割合		* 3 林野面積割合		* 4 河川延長・一級河川 (指定区間外含む)	
	ha	順位	%	順位	%	順位	km	順位
全 国	5 433 057		14.38		66.6		88 050.6	
北海道	867 561	1	10.40	37	70.8	18	10 176.5	1
青森県	114 570	18	11.88	29	65.1	25	1 083.5	34
岩手県	72 102	29	4.72	46	75.8	8	2 142.2	14
宮城県	171 199	8	23.50	9	56.6	33	2 112.4	15
秋田県	123 777	16	10.64	35	71.9	17	2 738.2	8
山形県	155 810	10	16.71	21	69.4	20	2 931.1	6
福島県	179 096	6	12.99	26	68.4	22	3 438.6	4
茨城県	90 896	20	14.91	23	31.0	46	1 892.9	20
栃木県	133 443	13	20.82	13	53.3	35	2 732.2	9
群馬県	88 970	21	13.98	25	63.8	29	2 904.5	7
埼玉県	124 583	15	33.06	4	32.2	44	1 645.0	25
千葉県	28 537	43	5.53	45	31.2	45	512.6	41
東京都	79 889	27	36.52	2	36.4	43	734.6	38
神奈川県	55 138	32	22.82	10	39.0	42	332.9	42
新潟県	316 891	2	25.18	8	64.2	28	3 602.9	3
富山県	125 554	14	29.56	5	56.4	34	1 171.2	32
石川県	52 564	33	12.56	27	66.7	24	316.9	43
福井県	64 110	30	15.30	22	74.1	12	1 099.3	33
山梨県	121 153	17	27.13	7	78.2	4	2 055.6	17
長野県	278 548	3	20.54	14	75.4	9	5 070.4	2
岐阜県	195 093	5	18.37	16	79.3	2	3 262.2	5
静岡県	83 777	25	10.77	33	63.7	30	1 627.0	27
愛知県	88 873	22	17.21	19	42.4	41	1 392.8	30
三重県	201 896	4	34.95	3	64.6	26	1 745.9	22
滋賀県	149 957	12	37.33	1	50.9	36	2 315.7	12
京都府	25 738	45	5.58	44	74.2	11	1 632.1	26
大阪府	20 039	47	10.56	36	30.6	47	668.9	39
兵庫県	166 015	9	19.77	15	66.9	23	1 772.1	21
奈良県	63 328	31	17.16	20	76.9	5	1 653.0	24
和歌山県	50 309	34	10.64	34	76.8	6	602.0	40
鳥取県	49 060	35	13.99	24	73.5	13	1 034.2	36
島根県	40 496	40	6.04	43	78.4	3	2 288.4	13
岡山県	80 664	26	11.34	30	68.7	21	2 543.3	10
広島県	37 853	42	4.46	47	73.0	14	2 418.7	11
山口県	42 667	38	6.98	41	71.9	16	215.7	44
徳島県	38 706	41	9.33	39	75.3	10	1 518.7	28
香川県	20 534	46	10.94	32	46.6	38	87.2	46
愛媛県	41 121	39	7.24	40	70.6	19	1 944.4	18
高知県	47 504	36	6.69	42	83.7	1	1 927.6	19
福岡県	88 107	23	17.70	18	44.3	40	1 300.2	31
佐賀県	26 884	44	11.02	31	45.4	39	1 075.1	35
長崎県	74 091	28	18.05	17	60.2	32	136.3	45
熊本県	155 636	11	21.02	11	63.1	31	1 734.5	23
大分県	174 849	7	27.58	6	72.5	15	2 074.5	16
宮崎県	91 919	19	11.88	28	76.2	7	1 508.5	29
鹿児島県	86 143	24	9.37	38	64.3	27	878.1	37
沖縄県	47 406	37	20.83	12	48.7	37	-	47

資料出所  
 \* 1,2 「環境統計集」環境省HP  
 \* 3 「農林業センサス」農林水産省HP  
 \* 4 「一級河川の河川延長等調」国土交通省HP

調査時点又は期間  
 平成25年3月31日  
 平成22年2月1日  
 平成24年4月30日

調査周期  
 毎年  
 5年  
 毎年

## 埼玉県の地形



資料：埼玉県の地形区分と名称図(1975村本達郎氏による)

### 県土の約3分の1が自然公園

本県は関東地方の中央部から西部に位置する内陸県で、東は茨城、千葉、西は長野、山梨、南は東京、北は群馬、栃木の1都6県に接しています。

地形は、県の最高峰・三宝山(2,483m)をはじめとする2,000m級の山々が西部に連なり、東部に移るにつれて丘陵、台地、低地と次第に低くなっています。

「環境統計集」によると、平成25年3月31日現在、自然公園は国立1か所、県立10か所の計11か所124,583haが指定されており、面積割合は県土の33.06%を占め、全国第4位でした。

「農林業センサス」によると、林野面積は122,401haで、面積割合は32.2%でした。

### 県内の一級河川延長は1,645km

国土交通省によると、県内の一級河川延長は1,645kmで、全国第25位でした。県内の一級河川はすべて利根川・荒川水系に含まれています。

※表\*1の自然公園面積は、国立公園、国定公園及び都道府県立自然公園の合計面積で再測定面積のため、都道府県別値の計は全国値と一致しません。

### ～「川の国応援団」、県内各地で活動中～

本県は、県土面積に占める河川の割合が3.9%で日本一です。さらに、県中央を流れる荒川は、鴻巣市と吉見町の境で河川の幅が2,537mであり、こちらも日本一です。

この貴重な財産を豊かな水辺として次代に引き継ぐため、県内各地に川の再生活動を行う団体が増えてきました。NPO、事業者、学校などの様々な団体が登録する「川の国応援団」もそのひとつで、平成25年11月現在で530団体が登録されています。

県では、こうした活動が活発に行われるよう、「川の国応援団」の登録団体に対し、活動資材の提供や貸出し、情報共有や情報発信など様々な支援を行っています。



おしえてコバトン

### 3 気象

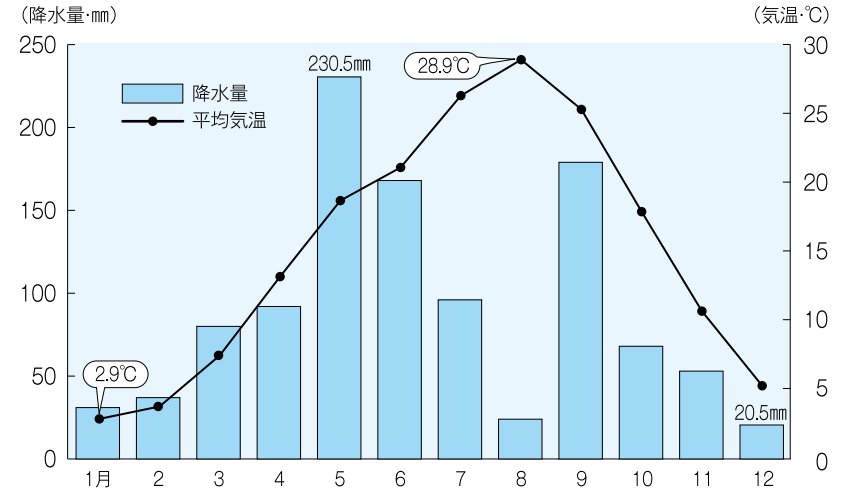
単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	年平均気温		降水量(年間)		日照時間(年間)		快晴日数(年間) 日平均雲量<1.5	
	℃	順位	mm	順位	時間	順位	日	順位
全 国	...	...	...	...	...	...	...	...
北海道	9.3	47	1 279.0	36	1 819.6	30	13	34
青森県	10.5	46	1 295.5	35	1 669.1	45	19	23
岩手県	10.8	45	1 029.5	43	1 805.5	31	10	41
宮城県	12.6	41	1 179.5	38	1 909.0	23	5	45
秋田県	12.1	42	1 742.5	18	1 684.3	44	13	34
山形県	11.8	44	991.5	46	1 663.8	46	4	47
福島県	13.2	40	1 070.5	42	1 751.4	38	7	43
茨城県	13.9	38	1 485.5	32	2 202.3	5	40	4
栃木県	14.0	37	1 668.0	22	2 088.5	11	25	13
群馬県	14.7	33	1 074.0	41	2 216.3	4	36	5
埼玉県	15.1	27	1 079.0	40	2 255.4	3	56	1
千葉県	15.7	25	1 742.0	19	2 187.5	6	23	16
東京都	16.3	15	1 570.0	27	2 022.9	17	29	11
神奈川県	15.8	22	1 997.5	14	2 125.0	10	24	15
新潟県	13.8	39	1 810.0	16	1 742.6	40	11	39
富山県	14.2	36	2 322.5	8	1 758.2	34	11	39
石川県	14.8	30	2 675.5	5	1 836.1	29	12	38
福井県	14.6	35	2 492.5	6	1 755.2	36	21	17
山梨県	14.8	30	1 003.5	45	2 357.9	1	34	6
長野県	12.1	42	955.5	47	2 043.6	15	7	43
岐阜県	15.7	25	1 871.5	15	2 131.7	9	32	9
静岡県	16.6	8	2 488.5	7	2 268.8	2	45	3
愛知県	15.8	22	1 567.5	28	2 159.5	7	30	10
三重県	15.9	21	1 714.0	21	2 148.3	8	21	17
滋賀県	14.8	30	1 737.5	20	1 874.6	26	16	29
京都府	15.8	22	1 562.0	29	1 752.2	37	15	31
大阪府	16.6	8	1 519.5	31	2 058.2	13	13	34
兵庫県	16.6	8	1 254.5	37	2 015.3	18	15	31
奈良県	14.7	33	1 597.5	26	1 755.9	35	19	23
和歌山県	16.4	13	1 637.0	25	2 042.0	16	18	27
鳥取県	14.9	29	2 281.0	9	1 725.5	41	13	34
島根県	15.1	27	1 561.5	30	1 721.2	42	10	41
岡山県	16.1	20	1 106.0	39	2 051.5	14	34	6
広島県	16.2	19	1 478.0	33	1 962.2	22	19	23
山口県	16.6	8	1 667.0	23	1 789.5	33	14	33
徳島県	16.4	13	1 639.0	24	1 995.6	21	21	17
香川県	16.3	15	1 020.5	44	1 996.9	20	18	27
愛媛県	16.3	15	1 369.0	34	1 901.7	24	21	17
高知県	16.8	6	2 985.0	2	2 066.4	12	34	6
福岡県	17.0	4	1 768.5	17	1 799.0	32	19	23
佐賀県	16.5	12	1 999.0	13	1 877.1	25	29	11
長崎県	16.9	5	2 135.5	12	1 711.1	43	25	13
熊本県	16.7	7	2 209.5	11	1 860.6	28	20	21
大分県	16.3	15	2 263.5	10	1 860.8	27	16	29
宮崎県	17.2	3	3 191.5	1	2 009.7	19	47	2
鹿児島県	18.2	2	2 895.0	3	1 750.5	39	20	21
沖縄県	23.0	1	2 733.0	4	1 538.9	47	5	45

資料出所  
\*1~4 気象庁HP

調査時点又は期間  
平成24年

調査周期  
毎年

### 月別降水量・平均気温(平成24年・熊谷)



資料：気象庁HP

#### 夏は高温多湿、冬は低温乾燥

本県の気候は、冬は北西の季節風が強く晴天の日が多くて乾燥し、夏は日中かなりの高温になり雷の発生が多く、降ひょうも多いのが特徴です。地域別に気温の特徴をみると、北部は、県内でも夏の気温が高い地域となっており、平成19年8月16日に熊谷と多治見(岐阜県)で、それまでの国内最高気温40.9℃を観測しました。(平成25年8月12日に高知県の江川崎で41.0℃を観測、国内最高気温が更新されました。)一方、秩父地方の盆地は、冬期に夜間の冷え込みが強く、昭和29年1月27日に-15.8℃の最低気温を観測しました。

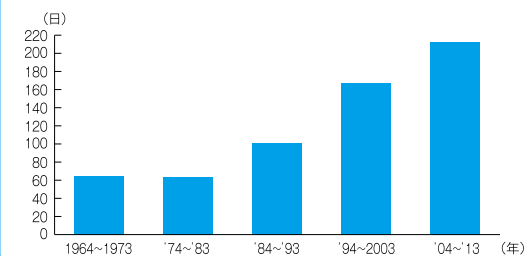
#### 年間快晴日数56日で全国第1位

気象庁によると、平成24年の熊谷の年平均気温は、平年値より0.1℃高い15.1℃、最高気温は7月27日の37.8℃、最低気温は1月27日の-5.6℃でした。

また、年間降水量は平年値より207.3mm少ない1,079.0mmで、日最大降水量は5月3日の94.0mmでした。日照時間は平年値より213.3時間多い2,255.4時間となり、快晴日数は56日で、前年より2日少ないものの、全国第1位でした。

※表\*1~4の各都道府県値は、原則、都道府県庁所在市の観測地点によりますが、埼玉県は熊谷、千葉県は銚子、滋賀県は彦根及び山口県は下関の値としました。

#### ~10年間ごとの猛暑日積算日数(熊谷)をみてみると?~



熊谷の猛暑日(最高気温35℃以上)の日数を過去10年間ごとに比べてみると、この30年間で急増しています。

資料：気象庁HP



おしえてコバトン

# 4 自然災害

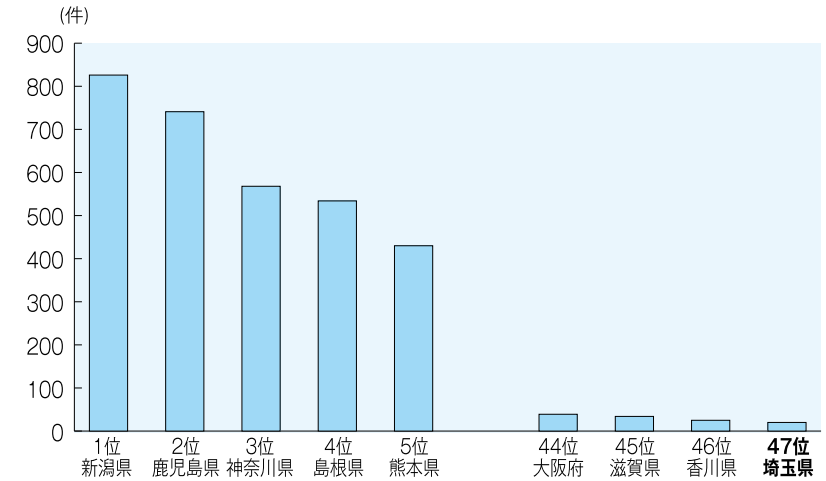
# 土砂災害発生件数 (平成17年～24年の累計)

単 位	* 1 自然災害による 被害総額		* 2 河川被害発生箇所数		* 3 土砂災害発生件数		* 4 震度1以上 地震観測回数	
	百万円	順位	箇所	順位	件	順位	回	順位
全 国	397 220		5 957		837		3 139	
北海道	9 536	10	164	8	13	16	216	8
青森県	15 757	7	60	21	2	32	246	7
岩手県	1 924	30	-	40	-	43	605	4
宮城県	2 256	27	-	40	-	43	774	2
秋田県	13 127	8	61	20	5	28	164	14
山形県	20 850	5	20	28	10	19	167	12
福島県	5 218	19	-	40	4	29	772	3
茨城県	1 473	32	9	34	2	32	834	1
栃木県	3 097	24	100	11	2	32	330	6
群馬県	1 395	33	13	31	1	39	188	11
埼玉県	7 46	-	40	-	43	-	216	8
千葉県	982	39	12	33	9	22	473	5
東京都	3 47	-	40	-	1	39	206	10
神奈川県	1 000	38	2	38	66	4	142	16
新潟県	12 123	9	68	19	35	7	146	15
富山県	1 215	35	-	40	9	22	8	46
石川県	2 534	26	6	35	2	32	22	32
福井県	432	42	3	37	10	19	11	43
山梨県	1 321	34	14	30	2	32	93	19
長野県	7 387	12	6	35	15	13	167	12
岐阜県	5 460	17	96	14	15	13	74	20
静岡県	20 619	6	97	13	31	9	122	17
愛知県	891	40	29	26	-	43	36	25
三重県	7 643	11	386	4	14	15	13	40
滋賀県	4 022	22	90	16	9	22	12	41
京都府	5 578	16	115	10	7	27	16	38
大阪府	138	45	13	31	-	43	19	33
兵庫県	1 935	28	80	17	1	39	23	30
奈良県	1 152	36	39	23	3	30	17	36
和歌山県	7 258	13	72	18	2	32	57	23
鳥取県	257	43	-	40	3	30	10	45
島根県	3 279	23	-	40	18	12	18	34
岡山県	4 939	20	347	5	12	17	12	41
広島県	1 888	31	181	7	11	18	27	29
山口県	1 020	37	39	23	22	11	15	39
徳島県	666	41	21	27	9	22	23	30
香川県	198	44	2	38	1	39	11	43
愛媛県	1 929	29	50	22	25	10	31	27
高知県	4 256	21	96	14	51	5	28	28
福岡県	55 822	2	1 551	1	100	3	18	34
佐賀県	2 722	25	37	25	10	19	7	47
長崎県	6 057	15	98	12	9	22	17	36
熊本県	71 644	1	724	3	115	1	64	22
大分県	46 635	3	865	2	41	6	36	25
宮崎県	6 251	14	123	9	32	8	69	21
鹿児島県	27 976	4	253	6	106	2	112	18
沖縄県	5 325	18	15	29	2	32	51	24

資料出所  
\* 1, 2 「消防白書」消防庁HP  
\* 3 「近年の都道府県別土砂災害発生状況」国土交通省HP  
\* 4 「地震・火山月報(防災編)」気象庁HP

調査時点又は期間  
平成24年  
平成24年  
平成24年

調査周期  
毎年  
毎年  
毎年



資料：「近年の都道府県別土砂災害発生状況」国土交通省HP

## 2年連続、河川被害発生箇所がゼロ

「消防白書」によると、平成24年の自然災害による被害総額は東京都に次いで少ない764万円で、全国第46位でした。

また、昨年に引き続き、河川被害発生箇所がありませんでした。

「近年の都道府県別土砂災害発生状況」によると、平成24年に発生した土砂災害はありませんでした。なお、平成17年以降の土砂災害発生件数は20件で、全国最少となっています。

## 県内で震度1以上の地震観測回数は前年の4分の1以下

「地震・火山月報(防災編)」によると、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」が発生した平成23年は、本県の観測点で観測した震度1以上の地震が897回ありましたが、平成24年は216回で前年の4分の1以下になっています。なお、最大の震度は震度4でした。

気象庁によると、平成24年に発生した台風の数も25個(平均は25.6個)でした。そのうち、日本に上陸した台風は2個(平均は2.7個)でした。また、「平成24年7月九州北部豪雨」では、九州北部地方で記録的な大雨となり、甚大な災害が発生したほか、西日本ではたびたび大雨に見舞われました。

※表\*3及び文中の土砂災害は、土石流、地すべり並びにがけ崩れの件数の合計です。

## ～平成25年における埼玉県内の主な自然災害～

	年月日	被害状況
突風 (竜巻)	平成25年 9月2日	人的被害 負傷者63名 建物被害 全壊15棟、半壊33棟、一部損壊1,140棟
		人的被害 負傷者(救急搬送したもの)15名 建物被害 全壊26棟、半壊30棟、一部損壊485棟
台風 第18号	平成25年 9月16日	床上浸水 10軒
		床下浸水 56軒

・9月2日14時00分頃、埼玉県さいたま市岩槻区尾ヶ崎新田から茨城県坂東市法師戸にかけて突風が発生し、埼玉県越谷市や千葉県野田市を中心に、屋根の飛散など多数の被害が発生しました。

・台風第18号は、暴風域を伴って9月16日8時前に愛知県豊橋市付近に上陸し、その後も勢力を維持したまま関東地方を北東に進みました。埼玉県では大雨による浸水、突風等による停電、鉄道や高速道路など交通機関への影響があったほか、竜巻等の突風が発生し、住家の屋根の一部飛散、屋根瓦の飛散や倒木などの被害がありました。

注) 被害状況については、突風(竜巻)は平成25年9月12日12時現在、台風第18号は平成25年9月17日7時現在で取りまとめられたもの。  
資料：熊谷地方気象台HP、県消防防災課



おしえてコバタン



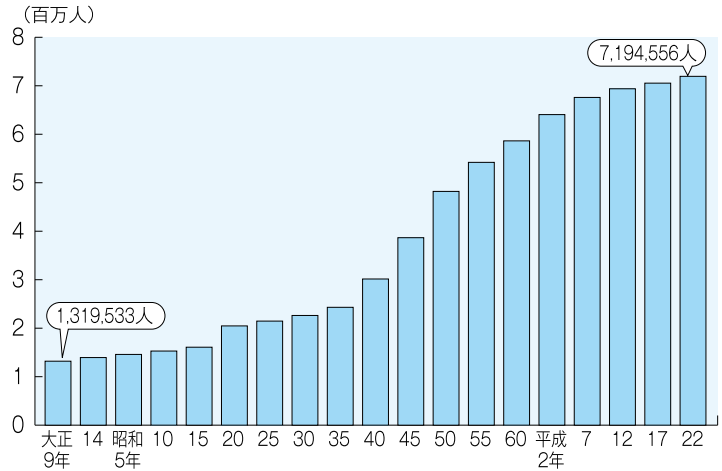
# 5 総人口

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	人口総数	順位	男	女	男	女	外国人	順位
人	人	人	人	人	人	人	人	人
全 国	128 057 352		62 327 737		65 729 615		1 648 037	
北海道	5 506 419	8	2 603 345	8	2 903 074	8	18 280	20
青森県	1 373 339	31	646 141	31	727 198	29	3 688	43
岩手県	1 330 147	32	634 971	32	695 176	32	5 184	38
宮城県	2 348 165	15	1 139 566	15	1 208 599	15	12 367	22
秋田県	1 085 997	38	509 926	38	576 071	37	3 356	46
山形県	1 168 924	35	560 643	35	608 281	34	6 158	36
福島県	2 029 064	18	984 682	20	1 044 382	18	9 347	28
茨城県	2 969 770	11	1 479 779	11	1 489 991	11	40 477	10
栃木県	2 007 683	20	996 855	18	1 010 828	21	26 429	17
群馬県	2 008 068	19	988 019	19	1 020 049	19	35 458	13
埼玉県	7 194 556	5	3 608 711	5	3 585 845	5	88 734	5
千葉県	6 216 289	6	3 098 139	6	3 118 150	6	78 927	7
東京都	13 159 388	1	6 512 110	1	6 647 278	1	318 829	1
神奈川県	9 048 331	2	4 544 545	2	4 503 786	3	125 686	4
新潟県	2 374 450	14	1 148 236	14	1 226 214	14	11 914	24
富山県	1 093 247	37	526 605	37	566 642	38	11 002	25
石川県	1 169 788	34	564 972	33	604 816	35	9 768	27
福井県	806 314	43	389 712	43	416 602	43	10 562	26
山梨県	863 075	41	422 526	41	440 549	42	12 484	21
長野県	2 152 449	16	1 046 178	16	1 106 271	16	29 841	16
岐阜県	2 080 773	17	1 006 247	17	1 074 526	17	36 879	12
静岡県	3 765 007	10	1 853 952	10	1 911 055	10	61 610	8
愛知県	7 410 719	4	3 704 220	4	3 706 499	4	160 228	3
三重県	1 854 724	22	903 398	22	951 326	23	32 825	14
滋賀県	1 410 777	28	696 769	25	714 008	30	21 537	18
京都府	2 636 092	13	1 265 387	13	1 370 705	13	41 855	9
大阪府	8 865 245	3	4 285 566	3	4 579 679	2	164 704	2
兵庫県	5 588 133	7	2 673 328	7	2 914 805	7	79 040	6
奈良県	1 400 728	29	663 321	30	737 407	28	9 255	29
和歌山県	1 002 198	39	471 397	40	530 801	39	4 837	39
鳥取県	588 667	47	280 701	47	307 966	47	3 596	44
島根県	717 397	46	342 991	46	374 406	46	4 779	40
岡山県	1 945 276	21	933 168	21	1 012 108	20	18 476	19
広島県	2 860 750	12	1 380 671	12	1 480 079	12	31 882	15
山口県	1 451 338	25	684 176	26	767 162	25	12 292	23
徳島県	785 491	44	372 710	44	412 781	44	4 076	41
香川県	995 842	40	479 951	39	515 891	40	6 858	34
愛媛県	1 431 493	26	673 326	28	758 167	27	7 828	31
高知県	764 456	45	359 134	45	405 322	45	3 172	47
福岡県	5 071 968	9	2 393 965	9	2 678 003	9	40 317	11
佐賀県	849 788	42	400 136	42	449 652	41	3 594	45
長崎県	1 426 779	27	665 899	29	760 880	26	6 498	35
熊本県	1 817 426	23	853 514	23	963 912	22	7 624	30
大分県	1 196 529	33	564 890	34	631 639	33	8 841	30
宮崎県	1 135 233	36	533 035	36	602 198	36	3 802	42
鹿児島県	1 706 242	24	796 896	24	909 346	24	5 490	37
沖縄県	1 392 818	30	683 328	27	709 490	31	7 651	32

資料出所 \*1~4「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 調査周期  
平成22年10月1日 5年

# 人口の推移 (各年10月1日現在)



注)昭和20年は11月1日現在で行われた人口調査による人口。  
資料:「国勢調査」総務省統計局

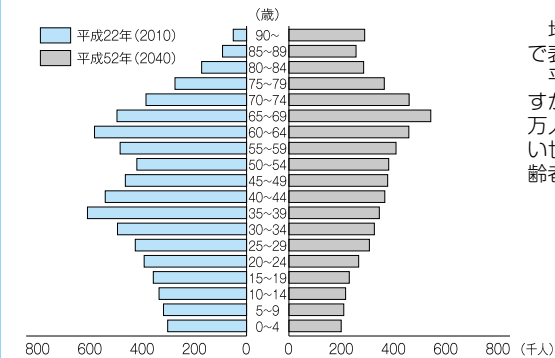
## 人口増加率は2.0%

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の人口は、前回調査(平成17年)より140,313人増加し、7,194,556人(男性3,608,711人、女性3,585,845人)で全国第5位でした。本県の人口は、大正9年の第1回調査から増加が続いており、増加率は過去最低だった前回調査を上回る2.0%でした。女性100人に対する男性の数を表す人口性比を都道府県別にみると、神奈川県が100.9、次いで本県が100.64と2県で男性人口が女性人口を上回っています。

## 県内在住外国人の割合が上昇

県内に在住する外国人は88,734人で、前回調査に比べて8,699人(10.9%)増加しました。この結果、本県の総人口に占める外国人の割合は、前回調査より0.1ポイント上昇して1.23%でした。

## ~どうなる？埼玉県の将来推計人口~



埼玉県の将来推計人口をグラフで表しました。  
平成22年の総人口は719万人ですが、30年後の平成52年には630万人に減少しています。また、若い世代の人口が減少する一方、高齢者の人口が増加しています。

資料:「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」国立社会保障・人口問題研究所HP



おしえてコタン

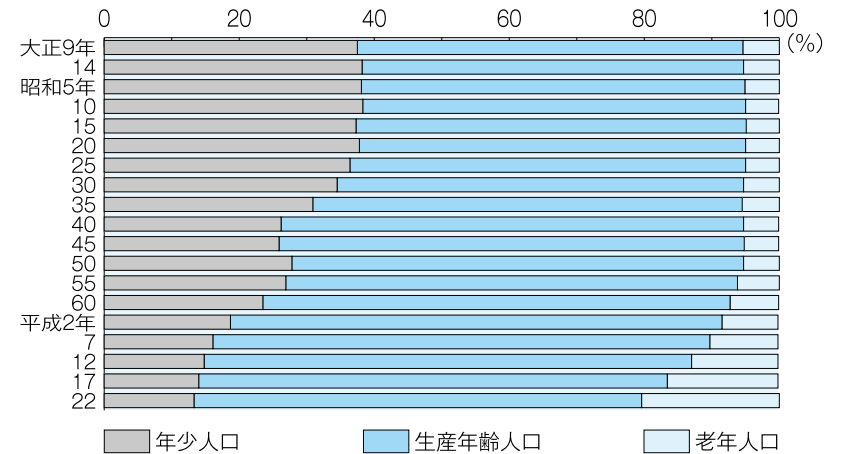
# 6 人口(年齢3区分別)

単 位	* 1 年少人口割合 (0~14歳)		* 2 生産年齢人口割合 (15~64歳)		* 3 老年人口割合 (65歳以上)		* 4 75歳以上 人口割合	
	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
全 国	13.2		63.8		23.0		11.1	
北海道	12.0	45	63.3	14	24.7	24	12.2	26
青森県	12.6	42	61.7	24	25.8	18	13.1	23
岩手県	12.7	40	60.1	39	27.2	7	14.5	9
宮城県	13.2	28	64.4	7	22.3	38	11.4	33
秋田県	11.4	46	59.0	46	29.6	1	16.1	2
山形県	12.8	38	59.6	43	27.6	5	15.4	4
福島県	13.7	15	61.3	25	25.0	23	13.5	19
茨城県	13.5	22	64.0	12	22.5	36	10.7	39
栃木県	13.6	21	64.4	8	22.0	40	10.8	37
群馬県	13.8	9	62.7	17	23.6	33	11.7	31
埼玉県	13.3	26	66.3	3	20.4	43	8.2	47
千葉県	13.0	32	65.4	4	21.5	41	9.0	43
東京都	11.4	47	68.2	1	20.4	44	9.4	42
神奈川県	13.2	30	66.6	2	20.2	46	8.8	45
新潟県	12.8	39	61.0	27	26.3	14	14.1	12
富山県	13.0	33	60.8	29	26.2	15	13.5	20
石川県	13.7	14	62.6	18	23.7	32	12.1	27
福井県	14.0	5	60.8	30	25.2	21	13.5	21
山梨県	13.4	23	61.9	22	24.6	25	12.8	25
長野県	13.8	10	59.7	42	26.5	11	14.2	11
岐阜県	14.0	7	61.9	23	24.1	28	11.8	30
静岡県	13.7	17	62.5	19	23.8	31	11.5	32
愛知県	14.5	4	65.2	5	20.3	45	8.9	44
三重県	13.7	11	62.0	21	24.3	27	12.0	28
滋賀県	15.1	2	64.2	10	20.7	42	10.0	40
京都府	12.9	36	63.8	13	23.4	34	11.0	35
大阪府	13.3	27	64.4	9	22.4	37	9.5	41
兵庫県	13.7	18	63.3	15	23.1	35	10.8	38
奈良県	13.2	29	62.8	16	24.0	29	11.1	34
和歌山県	12.9	37	59.9	40	27.3	6	14.0	16
鳥取県	13.4	25	60.3	36	26.3	13	14.6	7
島根県	12.9	35	58.0	47	29.1	2	16.6	1
岡山県	13.7	12	61.1	26	25.1	22	13.0	24
広島県	13.7	16	62.4	20	23.9	30	11.9	29
山口県	12.7	41	59.3	44	28.0	4	14.6	8
徳島県	12.4	43	60.6	32	27.0	8	14.7	6
香川県	13.4	24	60.7	31	25.8	17	13.7	18
愛媛県	13.0	34	60.4	35	26.6	10	14.1	13
高知県	12.2	44	59.0	45	28.8	3	15.9	3
福岡県	13.6	20	64.1	11	22.3	39	11.0	36
佐賀県	14.6	3	60.8	28	24.6	26	13.3	22
長崎県	13.6	19	60.4	34	26.0	16	14.0	15
熊本県	13.8	8	60.5	33	25.6	20	14.1	14
大分県	13.1	31	60.3	37	26.6	9	14.2	10
宮崎県	14.0	6	60.2	38	25.8	19	13.9	17
鹿児島県	13.7	13	59.8	41	26.5	12	14.8	5
沖縄県	17.8	1	64.8	6	17.4	47	8.7	46

資料出所 \*1~4「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 調査周期  
平成22年10月1日 5年

## 年齢3区分別人口構成比 (各年10月1日現在)



注)昭和20年は11月1日現在で行われた人口調査による人口。  
資料:「国勢調査」総務省統計局HP

### 低下する年少人口割合、上昇する老年人口割合

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の年齢3区分別の人口が総人口に占める割合は、年少人口割合が前回調査(平成17年)に比べ0.7ポイント低下し、大正9年の第1回調査以来最も低い13.3%(953,668人)でした。

生産年齢人口割合は、前回調査に比べ3.2ポイント低下し、66.3%(4,749,108人)で、東京都、神奈川県に次いで全国第3位となりました。

老年人口割合は、前回調査に比べ4.0ポイント上昇し、20.4%(1,464,860人)で、大正9年の第1回調査以来初めて20%を超え、前回調査は全国第46位でしたが、今回は全国第43位に上昇しました。また、4.0ポイントの上昇は全国で最高でした。

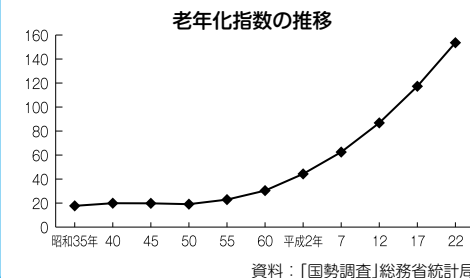
### 全国で最も低い75歳以上人口の割合

75歳以上の人口が総人口に占める割合は、前回調査に比べ1.9ポイント上昇し、8.2%(586,882人)となりましたが、全国第47位で最も低い割合でした。

※平成22年国勢調査から、年齢区分別人口割合の算出にあたっては、「不詳」数を分母に含めない方法に変更になりました。

※グラフの各構成比は、平成12年以前は「不詳」数を分母に含めた方法により、平成17年と平成22年は「不詳」数を分母に含めない方法により算出しています。

### ~上昇し続ける老年化指数~



老年化指数とは、65歳以上人口と15歳未満人口の比率を表すもので、15歳未満人口の割合の低下と65歳以上人口の割合の上昇の両面からの影響を受け、年々上昇しています。

老年化指数  
65歳以上人口÷15歳未満人口×100



# 7 年齢

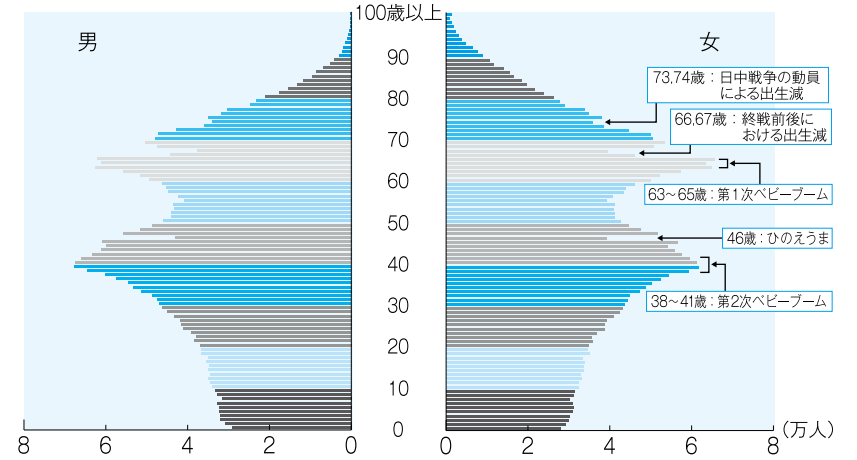
単 位	* 1 平均年齢		* 2 平均寿命(男)		* 3 平均寿命(女)		* 4 年齢100歳以上の人口	
	歳	順位	年	順位	年	順位	人	順位
全 国	45.0		79.59		86.35		43 882	
北海道	46.5	19	79.17	34	86.30	25	1 996	5
青森県	47.0	11	77.28	47	85.34	47	374	45
岩手県	47.4	7	78.53	45	85.86	43	501	35
宮城県	44.6	38	79.65	22	86.39	23	675	25
秋田県	49.3	1	78.22	46	85.93	39	405	42
山形県	47.6	5	79.97	9	86.28	28	477	38
福島県	46.1	22	78.84	44	86.05	38	685	24
茨城県	44.9	34	79.09	36	85.83	44	814	19
栃木県	44.8	37	79.06	38	85.66	46	516	31
群馬県	45.3	30	79.40	29	85.91	41	708	22
埼玉県	43.6	43	79.62	23	85.88	42	1 396	9
千葉県	44.3	40	79.88	13	86.20	34	1 431	8
東京都	43.8	42	79.82	14	86.39	22	3 744	1
神奈川県	43.4	44	80.25	5	86.63	15	2 269	3
新潟県	47.0	10	79.47	27	86.96	5	1 105	13
富山県	46.9	13	79.71	19	86.75	10	554	29
石川県	45.3	31	79.71	18	86.75	11	503	33
福井県	46.0	23	80.47	3	86.94	7	341	46
山梨県	45.8	24	79.54	25	86.65	13	392	43
長野県	46.6	18	80.88	1	87.18	1	1 000	14
岐阜県	45.3	33	79.92	11	86.26	29	658	26
静岡県	45.4	27	79.95	10	86.22	32	1 198	11
愛知県	42.9	46	79.71	17	86.22	31	1 574	7
三重県	45.4	28	79.68	21	86.25	30	605	27
滋賀県	43.1	45	80.58	2	86.69	12	432	41
京都府	44.8	36	80.21	6	86.65	14	1 137	12
大阪府	44.3	41	78.99	41	85.93	40	2 365	2
兵庫県	44.9	35	79.59	24	86.14	35	1 918	6
奈良県	45.4	29	80.14	7	86.60	17	503	33
和歌山県	47.3	8	79.07	37	85.69	45	433	40
鳥取県	46.9	14	79.01	40	86.08	36	334	47
島根県	48.4	3	79.51	26	87.07	2	515	32
岡山県	45.7	25	79.77	15	86.93	8	980	16
広島県	45.3	32	79.91	12	86.94	6	1 395	10
山口県	47.7	4	79.03	39	86.07	37	806	20
徳島県	47.6	6	79.44	28	86.21	33	377	44
香川県	46.7	17	79.73	16	86.34	24	482	37
愛媛県	47.1	9	79.13	35	86.54	19	720	21
高知県	48.4	2	78.91	42	86.47	21	486	36
福岡県	44.5	39	79.30	31	86.48	20	2 006	4
佐賀県	45.6	26	79.28	32	86.58	18	441	39
長崎県	46.8	16	78.88	43	86.30	26	700	23
熊本県	46.2	21	80.29	4	86.98	4	972	17
大分県	46.9	12	80.06	8	86.91	9	536	30
宮崎県	46.5	20	79.70	20	86.61	16	566	28
鹿児島県	46.8	15	79.21	33	86.28	27	985	15
沖縄県	40.7	47	79.40	30	87.02	3	872	18

資料出所  
\* 1.4 「国勢調査」総務省統計局HP  
\* 2.3 「都道府県別生命表」厚生労働省HP

調査時点又は期間  
平成22年10月1日  
平成22年

調査周期  
5年  
5年

# 埼玉県の人口ピラミッド (平成25年1月1日現在)



資料：「埼玉県町(丁)字別人口調査」県統計課

## 全国で5番目に若い県

「国勢調査」によると、平均年齢は、前回調査(平成17年)では全国で4番目に若い41.8歳でしたが、平成22年10月1日現在、1.8歳上昇して43.6歳となり、沖縄県、愛知県、滋賀県、神奈川県に続いて5番目に若い県となりました。

## 年齢100歳以上人口は20年前の25倍に増加

「都道府県別生命表」によると、平成22年の国勢調査等を基に算出した本県の平均寿命は、男性が79.62年、女性が85.88年で、40年前(昭和45年)より男性は10.24年、女性は11.26年上昇しました。

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の年齢100歳以上の人口は1,396人で、20年前(55人）の約25倍に増加しました。

## 40歳代人口が最多

「埼玉県町(丁)字別人口調査」によると、平成25年1月1日現在の人口を年齢階級別にみると、40歳代が1,105,722人で総数の15.2%を占め最も多く、次いで60歳代が1,065,197人で同14.6%、30歳代が1,058,327人で同14.5%と続いています。

$$\text{平均年齢} = \frac{\text{年齢(各歳)} \times \text{各歳別人口}}{\text{各歳別人口の合計}} + 0.5$$

※表\*2.3の順位は、厚生労働省公表の順位です。

## ～主な年齢の平均余命～

本県の主な年齢の平均余命を平成22年と45年前(昭和40年)と比較してみました。  
平均余命 ある歳の人がある歳以降に生存する年数の平均をその歳における平均余命という  
また、0歳における平均余命を平均寿命という

		単位：年				
		0歳	20歳	40歳	65歳	75歳
男	平成22年	79.62	60.02	40.79	18.71	11.39
	昭和40年	67.26	49.90	31.35	11.48	6.50
女	平成22年	85.88	66.25	46.70	23.42	14.90
	昭和40年	72.45	54.48	35.50	14.30	8.13

資料：「都道府県別生命表」厚生労働省





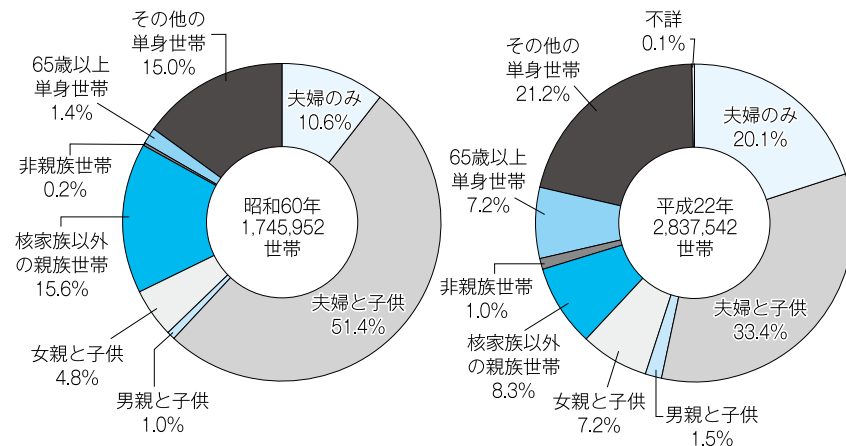
# 8 世帯

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	一般世帯数		1世帯当たり人員 (一般世帯)		核家族世帯割合 (一般世帯)		高齢単身世帯割合 (一般世帯)	
	世帯	順位	人	順位	%	順位	%	順位
全 国	51 842 307		2.42		56.3		9.2	
北海道	2 418 305	7	2.21	46	57.5	21	10.8	10
青森県	511 427	31	2.61	20	53.7	37	9.9	18
岩手県	482 845	32	2.69	11	51.1	45	9.0	24
宮城県	900 352	14	2.56	25	52.4	39	7.0	45
秋田県	389 095	38	2.71	8	52.1	43	10.1	14
山形県	387 682	39	2.94	1	48.3	46	7.7	39
福島県	719 441	22	2.76	7	52.5	38	8.3	31
茨城県	1 086 715	13	2.68	12	57.7	16	6.9	46
栃木県	744 193	19	2.65	15	55.6	30	7.1	44
群馬県	754 324	17	2.61	19	59.4	9	8.3	30
埼玉県	2 837 542	5	2.50	28	62.2	2	7.2	43
千葉県	2 512 441	6	2.44	34	59.5	8	7.6	40
東京都	6 382 049	1	2.03	47	48.2	47	9.8	21
神奈川県	3 830 111	2	2.33	41	59.3	10	8.1	34
新潟県	837 387	15	2.77	6	52.2	40	7.8	38
富山県	382 431	40	2.79	4	53.9	36	8.2	33
石川県	440 247	35	2.58	22	54.2	35	8.2	32
福井県	274 818	45	2.86	2	52.1	42	7.8	37
山梨県	327 075	41	2.58	23	57.7	17	9.0	26
長野県	792 831	16	2.66	13	56.7	25	8.7	29
岐阜県	735 702	20	2.78	5	57.4	22	7.8	35
静岡県	1 397 173	10	2.65	16	56.4	26	7.6	41
愛知県	2 929 943	4	2.49	30	57.5	20	7.4	42
三重県	703 237	23	2.59	21	58.7	12	8.9	27
滋賀県	517 049	30	2.69	10	57.7	19	6.6	47
京都府	1 120 440	12	2.31	42	55.2	34	9.9	19
大阪府	3 823 279	3	2.28	44	57.2	23	11.3	8
兵庫県	2 252 522	8	2.44	33	60.5	4	10.6	12
奈良県	522 600	28	2.63	17	64.0	1	9.0	25
和歌山県	392 842	36	2.50	29	60.1	7	12.8	3
鳥取県	211 396	47	2.71	9	52.1	41	9.2	23
島根県	260 921	46	2.66	14	51.5	44	10.5	13
岡山県	752 878	18	2.52	26	56.4	27	9.5	22
広島県	1 183 036	11	2.36	38	57.9	15	10.1	15
山口県	596 231	25	2.36	39	58.8	11	12.6	4
徳島県	301 546	43	2.52	27	55.4	31	10.7	11
香川県	389 652	37	2.49	31	57.7	18	9.8	20
愛媛県	589 676	26	2.37	37	58.6	13	11.8	5
高知県	321 004	42	2.30	43	55.8	28	13.9	2
福岡県	2 106 654	9	2.35	40	55.2	33	10.0	17
佐賀県	294 120	44	2.80	3	55.3	32	8.8	28
長崎県	556 895	27	2.47	32	58.2	14	11.4	7
熊本県	686 123	24	2.57	24	55.7	29	10.1	16
大分県	480 443	33	2.41	35	56.8	24	11.1	9
宮崎県	459 177	34	2.40	36	60.1	5	11.6	6
鹿児島県	727 273	21	2.27	45	60.1	6	14.1	1
沖縄県	519 184	29	2.63	18	60.5	3	7.8	36

資料出所 \*1~4「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 調査周期  
平成22年10月1日 5年

## 埼玉県の家族類型別一般世帯構成比



資料：「国勢調査」総務省統計局HP

### 増加する世帯数と進む世帯の小規模化

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の総世帯数は2,841,595世帯で、そのうち一般世帯数は2,837,542世帯、施設等の世帯数は4,053世帯でした。一般世帯数は、前回調査(平成17年)と比べると206,919世帯(7.9%)増加しました。

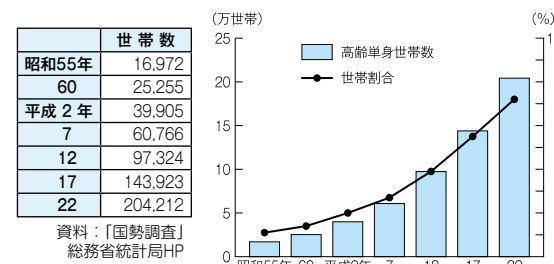
一般世帯の1世帯当たり人員は2.50人で、全国平均(2.42人)を上回ったものの、前回調査より0.14人減少しました。1世帯当たり人員は、前回調査(平成17年)と比べるとすべての都道府県で減少しており、世帯の小規模化が進んでいます。

### 核家族世帯割合は全国第2位

家族類型別に一般世帯をみると、核家族世帯が1,763,958世帯で一般世帯の62.2%を占めており、この割合は全国第2位でした。また、核家族世帯のうち、夫婦のみの世帯は569,701世帯(一般世帯の20.1%)、夫婦と子供から成る世帯は947,579世帯(同33.4%)でした。

高齢(65歳以上)単身世帯は、前回調査より60,289世帯(41.9%)増加して204,212世帯で、一般世帯に占める割合は7.2%でした。

### ～高齢単身世帯数(割合)の推移～



資料：「国勢調査」総務省統計局HP

「国勢調査」によると、県内の高齢(65歳以上)単身世帯数は、昭和55年には16,972世帯(一般世帯に占める割合1.1%)でしたが、平成22年には204,212世帯(同7.2%)に達し、30年間で約12倍に増加しました。



おしえてコバトン

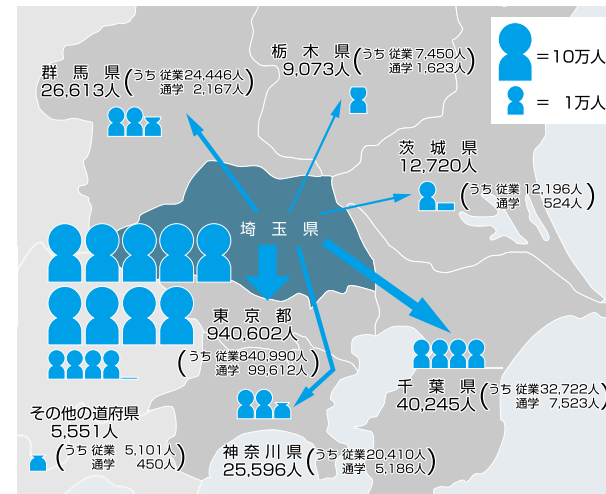
# 9 昼間人口

単 位	* 1 昼間人口		* 2 昼夜間人口比率		* 3 流入人口		* 4 流出人口	
	人	順位	—	順位	人	順位	人	順位
全 国	128 057 352		100.0		5 511 606		5 511 606	
北海道	5 504 418	7	100.0	19	2 728	44	4 740	43
青森県	1 374 008	29	100.0	13	5 622	40	4 967	42
岩手県	1 326 160	31	99.7	32	7 428	32	11 390	27
宮城県	2 351 980	15	100.2	9	19 369	21	15 593	26
秋田県	1 084 598	38	99.9	24	1 901	45	3 297	45
山形県	1 166 872	35	99.8	28	4 354	42	6 401	38
福島県	2 021 216	17	99.6	33	10 782	25	18 616	24
茨城県	2 886 651	11	97.2	40	75 673	9	159 224	8
栃木県	1 990 152	20	99.1	36	54 677	12	72 344	13
群馬県	2 005 137	18	99.9	27	55 338	11	58 261	16
埼玉県	6 373 489	5	88.6	47	246 144	4	1 060 400	2
千葉県	5 560 489	6	89.5	46	180 644	7	833 129	3
東京都	15 576 130	1	118.4	1	2 866 367	1	466 534	4
神奈川県	8 254 193	3	91.2	44	300 333	3	1 087 143	1
新潟県	2 374 633	14	100.0	17	4 878	41	4 695	44
富山県	1 091 323	37	99.8	29	6 362	38	8 287	32
石川県	1 172 269	34	100.2	7	10 602	26	8 133	33
福井県	806 735	43	100.1	12	6 206	39	5 788	39
山梨県	854 854	41	99.0	37	9 254	28	17 478	25
長野県	2 149 477	16	99.9	25	7 348	33	10 270	28
岐阜県	1 997 546	19	96.0	42	43 934	14	126 837	10
静岡県	3 759 757	10	99.9	26	31 728	17	37 028	17
愛知県	7 520 876	4	101.5	3	186 550	5	76 646	12
三重県	1 820 180	22	98.1	38	28 713	19	63 168	14
滋賀県	1 363 302	30	96.6	41	43 002	15	89 790	11
京都府	2 668 371	13	101.2	4	184 794	6	154 075	9
大阪府	9 280 560	2	104.7	2	668 317	2	251 710	6
兵庫県	5 347 839	8	95.7	43	133 309	8	371 973	5
奈良県	1 259 517	32	89.9	45	53 360	13	195 872	7
和歌山県	982 982	40	98.1	39	16 981	22	36 758	18
鳥取県	588 523	47	100.0	18	7 682	31	7 837	35
島根県	717 522	46	100.0	16	8 194	30	8 066	34
岡山県	1 943 176	21	99.9	21	19 547	20	21 963	21
広島県	2 868 553	12	100.3	5	30 035	18	22 213	20
山口県	1 444 127	25	99.5	35	12 976	23	20 011	22
徳島県	783 270	44	99.7	31	3 541	43	5 786	40
香川県	997 863	39	100.2	8	9 014	29	7 011	36
愛媛県	1 433 252	26	100.1	10	7 254	34	5 512	41
高知県	763 479	45	99.9	23	1 795	46	2 731	46
福岡県	5 078 054	9	100.1	11	65 238	10	59 252	15
佐賀県	851 631	42	100.2	6	36 553	16	34 842	19
長崎県	1 423 274	27	99.8	30	6 492	37	9 991	29
熊本県	1 809 829	23	99.6	34	11 317	24	18 861	23
大分県	1 196 808	33	100.0	15	10 023	27	9 706	30
宮崎県	1 135 601	36	100.0	14	7 205	36	6 848	37
鹿児島県	1 704 396	24	99.9	22	7 252	35	9 104	31
沖縄県	1 392 280	28	100.0	20	790	47	1 325	47

資料出所 \*1~4「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 平成22年10月1日 調査周期 5年

# 県外に就業・通学する就業者及び通学者数 (平成22年10月1日現在)



## 県外への就業・通学者数は全国第2位

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の昼間人口は、前回調査(平成17年)より214,525人(3.5%)増加して6,373,489人で、全国第5位でした。一方、常住人口(夜間人口)は7,194,556人でした。昼夜間人口比率は88.6で、前回調査に続き全国第47位でした。

本県に常住する15歳以上の就業者・通学者は3,879,297人で、そのうち県外へ就業・通学している者(流出人口)は1,060,400人で、全国第2位でした。

県外への就業・通学者は、東京都への940,602人が最多でしたが、前回調査(平成17年)より61,577人減少しました。次いで千葉県への40,245人、群馬県への26,613人の順でした。

一方、他都道府県に常住する15歳以上の就業者・通学者のうち、本県で就業・通学している者(流入人口)は246,144人で、全国第4位でした。

県外からの就業・通学者は、東京都からの136,130人が最も多く、次いで千葉県からの38,557人、群馬県からの25,902人の順でした。

**常住人口** 調査時に普段住んでいる場所における人口

**昼間人口** 昼間活動している場所における人口のことで、常住人口から就業・通学(15歳未満通学者を含む。)による流出人口及び流入人口を加減した人口

## ~市町村の昼夜間人口比率~

順位	昼夜間人口比率が低い (流出超過)	順位	昼夜間人口比率が高い (流入超過)
1	富士見市 72.4	1	三芳町 113.1
2	鳩ヶ谷市 (現川口市の一部) 75.6	2	嵐山町 104.5
3	東秩父村 76.4	3	美里町 100.8
4	白岡町 (現白岡市) 77.0	4	本庄市 100.8
5	松伏町 78.2	5	滑川町 100.4

資料: 平成22年国勢調査

昼夜間人口比率とは、当該市町村常住人口100人当たりの昼間人口の割合をいいます。

昼夜間人口比率が100未満であれば、昼間の就業・通学者等の流出が流入を上回っており(流出超過)、100を超えていれば、流入が流出を上回っている(流入超過)ことを表しています。



おしえてコバトン

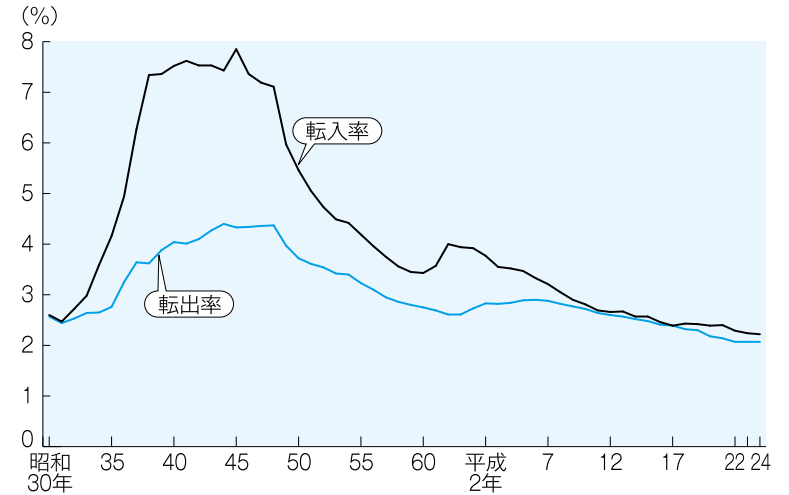
# 10 転入・転出

# 転入率と転出率

単 位	* 1 他都道府県からの 転入者数		* 2 他都道府県への 転出者数		* 3 転入超過数		* 4 転入超過率	
	人	順位	人	順位	人	順位	%	順位
全 国	2 317 856		2 317 856		-		-	
北海道	49 367	12	56 112	9	△ 6 745	45	△ 0.12	23
青森県	19 305	33	24 648	29	△ 5 343	44	△ 0.40	46
岩手県	19 306	32	21 691	32	△ 2 385	31	△ 0.18	31
宮城県	53 183	10	47 114	14	6 069	6	0.26	2
秋田県	12 503	41	16 077	39	△ 3 574	36	△ 0.34	44
山形県	14 444	38	17 144	38	△ 2 700	34	△ 0.24	39
福島県	23 346	27	37 189	15	△ 13 843	47	△ 0.71	47
茨城県	45 714	14	49 780	12	△ 4 066	41	△ 0.14	26
栃木県	31 674	15	32 960	16	△ 1 286	19	△ 0.07	17
群馬県	27 149	20	28 447	24	△ 1 298	21	△ 0.07	17
埼玉県	157 961	3	147 663	4	10 298	2	0.14	4
千葉県	132 651	5	140 839	5	△ 8 188	46	△ 0.13	25
東京都	400 274	1	343 777	1	56 497	1	0.44	1
神奈川県	207 908	2	199 306	2	8 602	4	0.10	5
新潟県	22 966	28	27 811	25	△ 4 845	42	△ 0.21	36
富山県	12 680	40	13 353	42	△ 673	14	△ 0.06	16
石川県	17 263	36	17 684	36	△ 421	13	△ 0.04	14
福井県	8 819	47	10 460	47	△ 1 641	24	△ 0.21	36
山梨県	13 016	39	14 294	40	△ 1 278	18	△ 0.15	28
長野県	27 020	21	29 076	22	△ 2 056	27	△ 0.10	19
岐阜県	26 630	22	30 546	19	△ 3 916	39	△ 0.19	33
静岡県	51 969	11	55 921	10	△ 3 952	40	△ 0.11	21
愛知県	110 624	6	103 032	6	7 592	5	0.10	5
三重県	27 750	19	29 859	20	△ 2 109	28	△ 0.12	23
滋賀県	26 456	23	25 173	28	1 283	8	0.09	7
京都府	53 821	9	54 239	11	△ 418	12	△ 0.02	12
大阪府	154 847	4	149 466	3	5 381	7	0.06	9
兵庫県	90 850	8	92 145	8	△ 1 295	20	△ 0.02	12
奈良県	24 671	25	27 362	26	△ 2 691	33	△ 0.19	33
和歌山県	11 757	42	14 139	41	△ 2 382	30	△ 0.24	39
鳥取県	9 119	46	10 572	46	△ 1 453	23	△ 0.25	41
島根県	10 657	43	11 856	43	△ 1 199	17	△ 0.17	30
岡山県	30 173	16	29 769	21	404	10	0.02	10
広島県	46 788	13	49 574	13	△ 2 786	35	△ 0.10	19
山口県	22 482	29	26 117	27	△ 3 635	38	△ 0.26	42
徳島県	10 532	44	11 363	45	△ 831	15	△ 0.11	21
香川県	18 982	34	18 794	35	188	11	0.02	10
愛媛県	18 608	35	21 114	34	△ 2 506	32	△ 0.18	31
高知県	9 575	45	11 514	44	△ 1 939	26	△ 0.26	42
福岡県	102 831	7	94 164	7	8 667	3	0.17	3
佐賀県	15 814	37	17 184	37	△ 1 370	22	△ 0.16	29
長崎県	23 858	26	28 764	23	△ 4 906	43	△ 0.35	45
熊本県	29 894	17	30 836	18	△ 942	16	△ 0.05	15
大分県	19 544	31	21 204	33	△ 1 660	25	△ 0.14	26
宮崎県	19 580	30	21 745	31	△ 2 165	29	△ 0.19	33
鹿児島県	28 224	18	31 823	17	△ 3 599	37	△ 0.21	36
沖縄県	25 271	24	24 156	30	1 115	9	0.08	8

資料出所 \*1~4 「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局HP

調査時点又は期間 調査周期 平成24年 毎年



資料：「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局HP

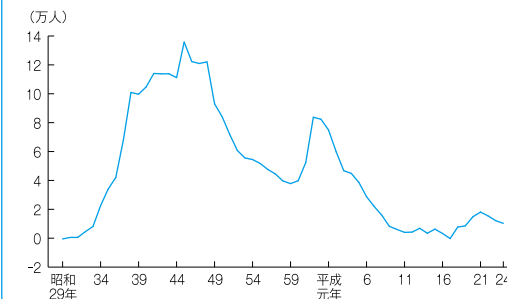
## 転入超過数は全国第2位

「住民基本台帳人口移動報告年報」によると、平成24年の住民基本台帳上の他都道府県からの転入者数は、前年よりも1,239人減少して、157,961人で、全国第3位でした。内訳は、東京都からの転入が最も多く58,200人、次いで千葉県から14,055人、神奈川県から13,762人の順でした。

また、他都道府県への転出者数は、前年より606人増加して147,663人で、全国第4位でした。内訳は、東京都への転出が最も多く57,590人、次いで神奈川県へ13,794人、千葉県へ12,372人の順でした。

転入者数と転出者数を比べると、昭和30年以降、転出者より転入者の多い転入超過の状況が続いていましたが、平成17年は51年ぶりに転出者が多い転出超過となりました。しかし、平成18年から再び転入超過となり、平成24年の転入超過数は10,298人で、東京都に次いで全国第2位でした。なお、転入超過率は0.14%で、全国第4位でした。

## ～転入超過数の推移～



転入超過数(転入者数-転出者数)は、昭和40~48年は10万人を超え、ピークの昭和45年は135,775人でした。しかし、近年はだいぶ減り、平成24年は10,298人でピーク時の約13分の1以下となりました。

資料：「住民基本台帳人口移動報告」総務省統計局HP



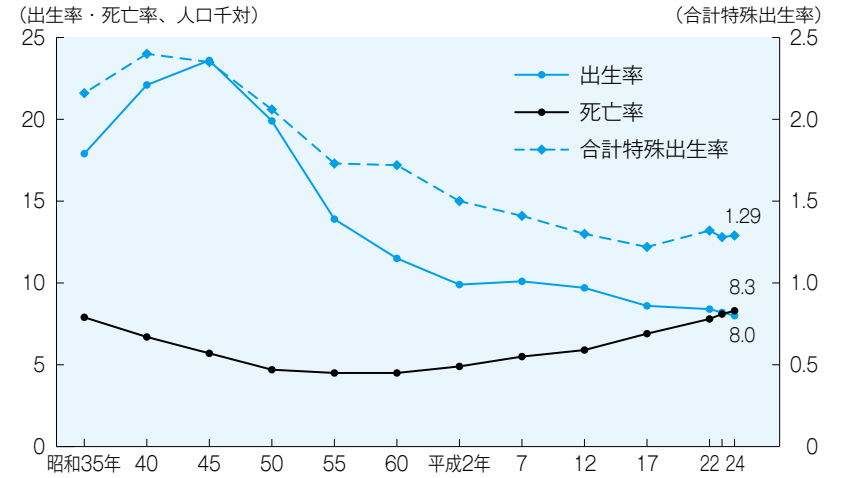
# 11 出生

# 出生率・死亡率及び合計特殊出生率

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	出生数 人	順位	出生率 (人口千対)	順位	自然増減率 (人口千対)	順位	合計特殊出生率	順位
全 国	1 037 231		8.2		△ 1.7		1.41	
北海道	38 686	9	7.1	43	△ 3.6	28	1.26	45
青森県	9 168	35	6.8	46	△ 6.0	45	1.36	38
岩手県	9 276	34	7.1	42	△ 5.2	41	1.44	25
宮城県	18 707	14	8.1	25	△ 1.5	11	1.30	42
秋田県	6 543	42	6.2	47	△ 7.8	47	1.37	37
山形県	8 212	36	7.2	41	△ 5.7	44	1.44	24
福島県	13 770	25	7.0	44	△ 4.9	38	1.41	33
茨城県	22 896	12	7.9	31	△ 2.4	18	1.41	34
栃木県	15 973	21	8.1	24	△ 2.4	17	1.43	31
群馬県	14 914	22	7.6	34	△ 3.2	26	1.39	36
埼玉県	56 943	5	8.0	26	△ 0.3	6	1.29	44
千葉県	48 881	6	8.0	27	△ 0.7	8	1.31	40
東京都	107 401	1	8.3	17	△ 0.1	5	1.09	47
神奈川県	75 477	2	8.4	13	0.4	4	1.30	43
新潟県	17 476	15	7.5	38	△ 4.5	36	1.43	29
富山県	7 880	38	7.4	40	△ 4.5	37	1.42	32
石川県	9 544	33	8.3	19	△ 2.3	16	1.47	19
福井県	6 712	41	8.5	10	△ 2.6	23	1.60	8
山梨県	6 336	43	7.5	37	△ 3.8	33	1.43	28
長野県	16 661	17	7.9	29	△ 3.7	30	1.51	18
岐阜県	16 496	18	8.1	23	△ 2.5	20	1.45	23
静岡県	30 810	10	8.4	15	△ 2.0	13	1.52	17
愛知県	67 913	4	9.3	3	0.9	2	1.46	22
三重県	14 729	24	8.1	22	△ 2.5	19	1.47	20
滋賀県	13 236	26	9.5	2	0.7	3	1.53	12
京都府	20 111	13	7.8	32	△ 2.1	14	1.23	46
大阪府	73 012	3	8.4	14	△ 0.9	9	1.31	41
兵庫県	46 436	7	8.4	12	△ 1.3	10	1.40	35
奈良県	10 565	30	7.7	33	△ 2.2	15	1.32	39
和歌山県	7 424	40	7.6	36	△ 5.1	39	1.53	14
鳥取県	4 771	47	8.3	20	△ 4.0	34	1.57	9
島根県	5 585	45	8.0	28	△ 5.6	43	1.68	2
岡山県	16 279	19	8.5	11	△ 2.6	22	1.47	21
広島県	24 846	11	8.8	7	△ 1.6	12	1.54	11
山口県	10 797	29	7.6	35	△ 5.2	42	1.52	16
徳島県	5 744	44	7.4	39	△ 5.2	40	1.44	26
香川県	8 161	37	8.3	18	△ 3.3	27	1.56	10
愛媛県	11 130	28	7.9	30	△ 4.3	35	1.52	15
高知県	5 266	46	7.0	45	△ 6.5	46	1.43	27
福岡県	45 815	8	9.1	4	△ 0.6	7	1.43	30
佐賀県	7 440	39	8.9	6	△ 2.7	24	1.61	7
長崎県	11 723	27	8.4	16	△ 3.6	29	1.63	5
熊本県	15 996	20	8.9	5	△ 2.5	21	1.62	6
大分県	9 650	32	8.2	21	△ 3.7	31	1.53	13
宮崎県	9 858	31	8.8	9	△ 2.8	25	1.67	3
鹿児島県	14 841	23	8.8	8	△ 3.8	32	1.64	4
沖縄県	17 074	16	12.2	1	4.6	1	1.90	1

資料出所 \*1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 調査周期  
平成24年 毎年



## 減少が続く出生数

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成24年の出生数は前年より1,116人減少して、56,943人(男29,155人、女27,788人)で全国第5位でした。出生数は、昭和48年の106,008人をピークに平成2年まで減少し続け、その後増加した年もありますが、全体として減少傾向にあります。

また、出生率は8.0で、前年を0.2ポイント下回りました。出生率は、第2次ベビーブームの昭和46年の24.0以降低下を続け、平成元年頃から10.0前後で推移していました。しかし、平成13年以降は低下が続き、平成18年は上昇したものの、平成19年から再び低下が続いています。

## 合計特殊出生率が上昇

自然増減率は、戦後初めてマイナスに転じ、前年より0.4ポイント低下した△0.3となり、全国第6位となりました。また、合計特殊出生率は前年より0.01ポイント上昇し、1.29でした。

※表\*1~3の全国値は住所が外国の者・不詳を含みます。

※表\*2~4の比率算出に用いた日本人人口は、平成24年10月1日現在人口推計(総務省統計局)です。

出生率 出生数÷日本人人口×1,000

自然増減率 自然増減数(出生数-死亡数)÷日本人人口×1,000

合計特殊出生率 15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に子どもを生むとしたときの子どもの数に相当します。

## ~出生率の高い市町村は?~

平成24年の「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、人口1,000人に対する出生率を市町村別に見ると、最も高率だったのは、戸田市の11.5、次いで和光市の10.6、朝霞市の10.3の順でした。また、低率だったのは、鳩山町の2.8、東秩父村の2.8、ときがわ町の4.0の順でした。



おしえてコバトン



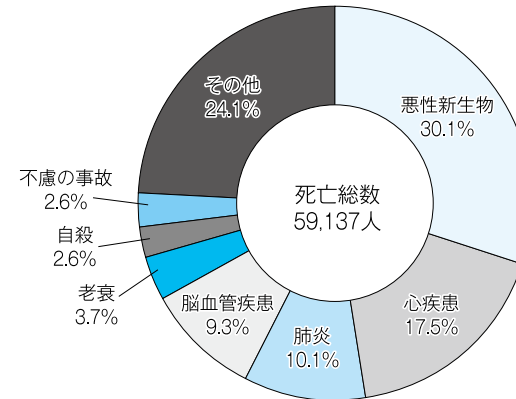
# 12 死亡

# 死因別死亡数構成比 (平成24年)

単 位	* 1 死亡数 (総数)		* 2 死亡率 (人口千対)		* 3 死亡数 (悪性新生物)		* 4 死亡数 (心疾患)	
	人	順位	—	順位	人	順位	人	順位
全 国	1 256 359		10.0		360 963		198 836	
北海道	58 066	6	10.7	27	18 138	4	9 464	6
青森県	17 294	26	12.8	5	4 805	26	2 839	27
岩手県	16 072	29	12.4	10	4 241	29	2 848	26
宮城県	22 101	17	9.5	39	6 451	15	3 341	19
秋田県	14 856	30	14.0	1	4 099	30	2 298	31
山形県	14 752	31	12.9	4	4 099	30	2 236	32
福島県	23 418	16	12.0	14	6 235	17	4 235	14
茨城県	30 009	11	10.3	34	8 300	11	4 963	11
栃木県	20 784	22	10.6	31	5 613	21	3 547	18
群馬県	21 169	21	10.8	26	5 671	19	3 250	23
埼玉県	59 137	5	8.3	45	17 818	6	10 325	4
千葉県	53 206	8	8.7	42	15 475	8	9 550	5
東京都	109 194	1	8.5	43	32 921	1	16 807	1
神奈川県	71 996	3	8.0	46	22 302	3	10 470	3
新潟県	28 083	13	12.0	13	7 846	13	4 165	15
富山県	12 754	35	11.9	17	3 493	34	1 773	40
石川県	12 223	37	10.6	30	3 485	35	1 948	38
福井県	8 795	46	11.1	24	2 373	46	1 416	46
山梨県	9 555	44	11.4	23	2 549	43	1 417	45
長野県	24 474	15	11.6	19	6 270	16	3 717	16
岐阜県	21 531	18	10.6	28	5 802	18	3 656	17
静岡県	38 194	10	10.4	33	10 269	10	5 697	10
愛知県	61 354	4	8.4	44	18 102	5	8 651	7
三重県	19 210	24	10.6	29	5 123	24	2 764	28
滋賀県	12 221	38	8.8	41	3 354	38	2 228	33
京都府	25 416	14	9.8	36	7 570	14	4 317	13
大阪府	80 472	2	9.3	40	25 307	2	13 097	2
兵庫県	53 657	7	9.8	37	16 035	7	8 219	8
奈良県	13 656	33	9.9	35	4 019	32	2 495	30
和歌山県	12 435	36	12.7	8	3 394	37	2 206	34
鳥取県	7 074	47	12.2	11	1 914	47	1 134	47
島根県	9 513	45	13.6	2	2 538	44	1 461	43
岡山県	21 181	20	11.0	25	5 616	20	3 322	20
広島県	29 273	12	10.4	32	8 166	12	4 925	12
山口県	18 231	25	12.8	6	4 918	25	3 007	25
徳島県	9 781	42	12.7	7	2 504	45	1 439	44
香川県	11 369	39	11.6	20	2 983	39	2 048	37
愛媛県	17 216	27	12.2	12	4 593	28	3 208	24
高知県	10 142	41	13.5	3	2 581	42	1 866	39
福岡県	48 957	9	9.7	38	15 153	9	5 773	9
佐賀県	9 676	43	11.5	21	2 781	41	1 483	42
長崎県	16 784	28	12.0	15	4 725	27	2 570	29
熊本県	20 565	23	11.4	22	5 471	23	3 268	21
大分県	14 050	32	11.9	16	3 753	33	2 176	36
宮崎県	13 051	34	11.6	18	3 483	36	2 200	35
鹿児島県	21 281	19	12.6	9	5 520	22	3 262	22
沖縄県	10 626	40	7.6	47	2 913	40	1 566	41

資料出所 \*1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 調査周期 平成24年 毎年



資料：「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP  
「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP

### 死亡数は増加

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成24年の死亡数は前年より1,467人増加して、59,137人(男性32,440人、女性26,697人)で全国第5位でした。死亡率は前年より0.2ポイント増加して8.3でした。死亡率は昭和35年から昭和55年まで低下傾向が続き、以降4.5前後で推移していましたが、昭和61年以降上昇傾向に転じました。

### 死因第1位は悪性新生物、第2位心疾患、第3位肺炎で変わらず

死亡数を死因別にみると、悪性新生物が17,818人(死亡総数の30.1%)と最も多く、次いで心疾患10,325人(同17.5%)、肺炎5,972人(同10.1%)、脳血管疾患5,517人(同9.3%)、老衰2,201人(同3.7%)、自殺1,528人(同2.6%)、不慮の事故1,514人(同2.6%)の順でした。また、年齢階級別に死因別割合をみると、10~30歳代は自殺、40~80歳代は悪性新生物、90歳以上は心疾患の割合が最も高くなりました。

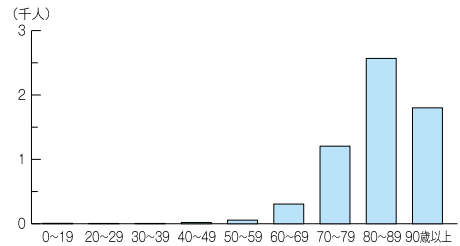
※表\*1~4の全国値は住所が外国・不詳の者を含みます。

※表\*4、グラフ及び文中の心疾患の死亡数は、高血圧性を除きます。

死亡率 死亡数÷日本人人口×1,000

※日本人人口は、平成24年10月1日現在人口推計(総務省統計局)です。

### ~肺炎の年齢階級別死亡数~



「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成24年の死因第3位の肺炎による死亡数は、80~89歳が2,568人で最も多く、次いで90歳以上が1,800人、70~79歳が1,205人の順になっています。70歳以上の高齢者が、全体の93.3%を占めています。

資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP





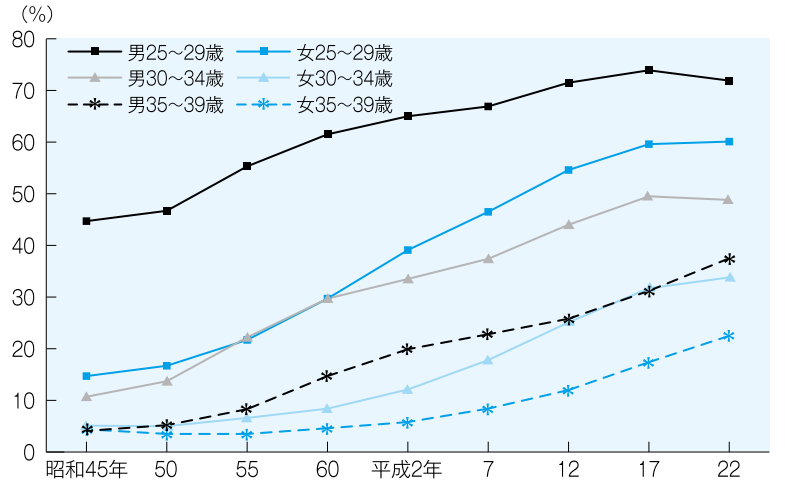
# 13 婚姻・離婚

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	婚姻率 (人口千対)		離婚率 (人口千対)		平均初婚年齢(夫)		平均初婚年齢(妻)	
	—	順位	—	順位	歳	順位	歳	順位
全 国	5.3		1.87		30.8		29.2	
北海道	4.9	23	2.13	4	30.4	23	29.0	14
青森県	4.3	44	1.79	28	30.4	23	28.7	27
岩手県	4.3	45	1.52	42	30.2	34	28.5	42
宮城県	5.3	7	1.71	33	30.4	23	29.0	14
秋田県	3.8	47	1.41	46	30.5	19	28.8	20
山形県	4.3	46	1.47	43	30.4	23	28.6	33
福島県	4.7	28	1.64	37	29.9	45	28.1	47
茨城県	5.0	19	1.81	23	30.6	13	28.8	20
栃木県	5.2	12	1.87	14	30.6	13	28.8	20
群馬県	4.7	31	1.80	26	30.6	13	28.8	20
埼玉県	5.2	13	1.89	10	31.3	3	29.4	4
千葉県	5.3	9	1.88	11	31.2	4	29.3	5
東京都	6.9	1	1.96	7	32.1	1	30.3	1
神奈川県	5.8	4	1.88	12	31.5	2	29.7	2
新潟県	4.4	41	1.38	47	30.6	13	28.9	17
富山県	4.5	36	1.44	45	30.8	8	29.0	14
石川県	4.9	21	1.53	41	30.4	23	28.9	17
福井県	4.6	35	1.57	40	30.3	30	28.6	33
山梨県	4.7	33	1.89	9	31.0	7	29.2	8
長野県	4.7	30	1.68	35	31.2	4	29.3	5
岐阜県	4.7	32	1.63	38	30.5	19	28.6	33
静岡県	5.2	10	1.87	17	30.7	11	28.8	20
愛知県	5.9	3	1.85	19	30.6	13	28.8	20
三重県	5.0	20	1.79	29	30.3	30	28.6	33
滋賀県	5.3	8	1.68	36	30.3	30	28.8	20
京都府	5.1	15	1.80	25	31.1	6	29.5	3
大阪府	5.5	6	2.16	3	30.8	8	29.3	5
兵庫県	5.1	14	1.87	16	30.6	13	29.1	10
奈良県	4.5	39	1.73	32	30.8	8	29.1	10
和歌山県	4.7	29	1.99	6	30.0	39	28.6	33
鳥取県	4.8	26	1.84	21	30.5	19	28.7	27
島根県	4.4	40	1.44	44	30.4	23	28.6	33
岡山県	5.0	17	1.83	22	30.2	34	28.6	33
広島県	5.2	11	1.80	24	30.2	34	28.7	27
山口県	4.6	34	1.68	34	30.0	39	28.5	42
徳島県	4.4	42	1.62	39	30.4	23	28.6	33
香川県	4.9	22	1.92	8	30.1	37	28.7	27
愛媛県	4.5	37	1.80	27	30.0	39	28.5	42
高知県	4.3	43	1.87	15	30.7	11	29.2	8
福岡県	5.5	5	2.09	5	30.5	19	29.1	10
佐賀県	4.8	27	1.75	30	30.0	39	28.6	33
長崎県	4.5	38	1.75	31	30.1	37	28.9	17
熊本県	5.0	18	1.88	13	30.0	39	28.7	27
大分県	4.8	25	1.86	18	30.3	30	29.1	10
宮崎県	5.1	16	2.16	2	29.8	47	28.4	46
鹿児島県	4.8	24	1.85	20	30.0	39	28.7	27
沖縄県	6.3	2	2.59	1	29.9	45	28.5	42

資料出所 \*1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 調査周期 平成24年 毎年

## 年齢階級別未婚率(各年10月1日現在)



資料：「国勢調査」総務省統計局HP

### 婚姻率が上昇に転じる

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成24年の婚姻件数は、前年より549件増加して36,776件で、婚姻率は、前年より0.1ポイント上昇して5.2でした。

また、離婚件数は、前年より113件減少して13,434件で、離婚率は、前年より0.01ポイント低下して1.89でした。

### 25~34歳の男性の未婚率が低下に転じる

平成24年の平均初婚年齢は、夫が31.3歳、妻が29.4歳で、夫、妻ともに前年より0.2歳上昇しました。

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の未婚率は、25~29歳では男性71.9%、女性60.1%で、前回調査(平成17年)より男性は2.0ポイント低下したのに対し、女性は0.5ポイント上昇しました。

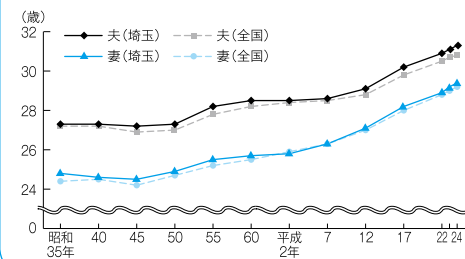
また、30~34歳では男性48.8%、女性33.8%で、前回調査より男性は0.7ポイント低下したのに対し、女性は2.1ポイント上昇しました。

婚姻率・離婚率 婚姻(離婚)件数÷日本人口×1,000

※日本人口は、平成24年10月1日現在人口推計(総務省統計局)です。

未婚率 当該年齢(年代)の未婚者(結婚したことのない人)数÷当該年齢(年代)の総人口×100

### ~平均初婚年齢の推移~



本県の平成24年の平均初婚年齢は夫31.3歳、妻29.4歳で、昭和35年と比べて夫は4.0歳、妻は4.6歳上昇しました。

資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP



## ◆国勢調査による年齢3区分別人口の推移◆

年次	人 口 (人)			
	総 数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
大正 9年	1 319 533	494 776	752 892	71 865
14	1 394 461	532 213	787 869	74 379
昭和 5年	1 459 172	555 794	828 399	74 979
10	1 528 854	586 089	867 178	75 587
15	1 607 927	599 800	929 905	78 220
20	2 047 261	774 175	1 170 912	102 174
25	2 146 445	781 127	1 257 941	107 205
30	2 262 623	779 877	1 362 837	119 900
35	2 430 871	752 024	1 545 841	133 006
40	3 014 983	790 961	2 066 337	157 685
45	3 866 472	1 002 863	2 665 020	198 589
50	4 821 340	1 340 136	3 223 138	256 014
55	5 420 480	1 458 421	3 624 550	333 874
60	5 863 678	1 380 180	4 060 573	420 099
平成 2年	6 405 319	1 196 946	4 660 202	530 539
7	6 759 311	1 090 395	4 976 945	681 172
12	6 938 006	1 024 787	5 011 202	889 243
17	7 054 243	986 361	4 892 253	1 157 006
22	7 194 556	953 668	4 749 108	1 464 860

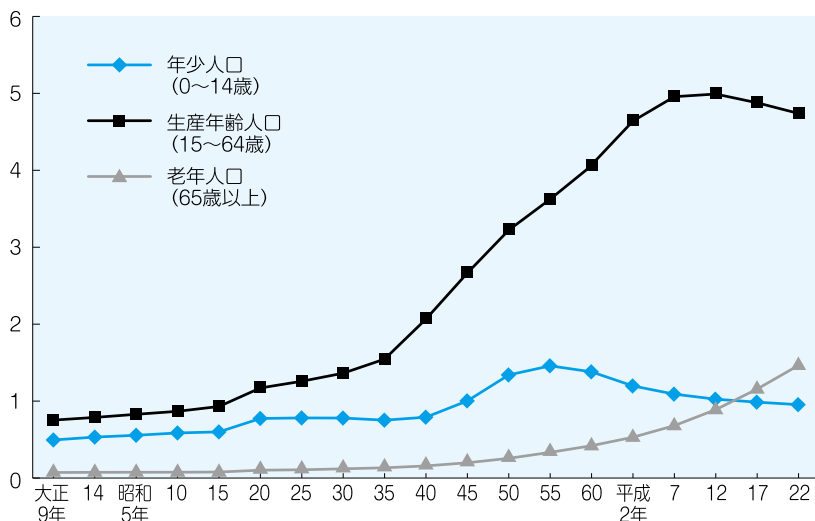
資料：「国勢調査」総務省統計局HP(各年10月1日現在、昭和20年は11月1日現在)

注)1 総数には、年齢「不詳」を含む年があります。

2 昭和15年は、旧外地人(朝鮮、台湾、樺太及び南洋群島)以外の外国人を除く人口です。

3 昭和20年は、人口調査による数値です。

(百万人)



上の表の年齢3区分別人口をそれぞれ折れ線グラフ化したものが、下のグラフです。

年少人口は、昭和55年をピークに減少に転じ、平成17年には3区分の中で最少となりました。生産年齢人口も、平成12年をピークに減少し始めました。逆に老年人口は緩やかに増加していたものが、平成に入り急増し、ついに平成17年に年少人口を逆転しました。少子高齢化が急速に進んでいるのが、グラフからはっきりわかります。